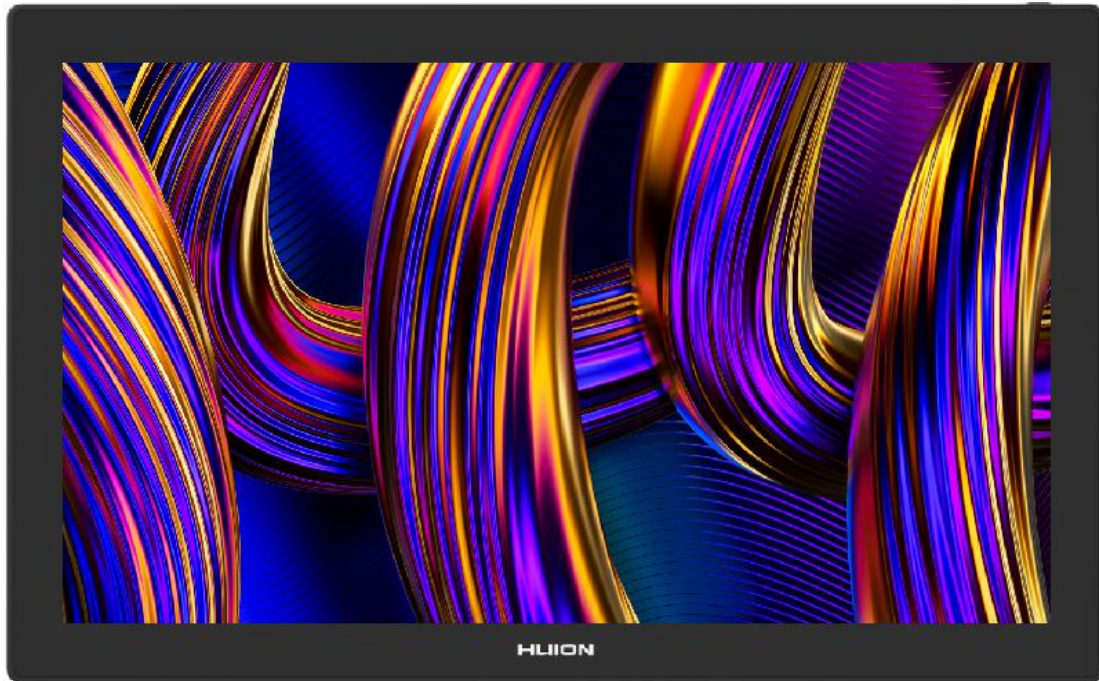


Kamvas Pro 27 (144HZ)



HUIION Kamvas Pro 27 (144HZ)ペンディスプレイをお選びいただきありがとうございます。

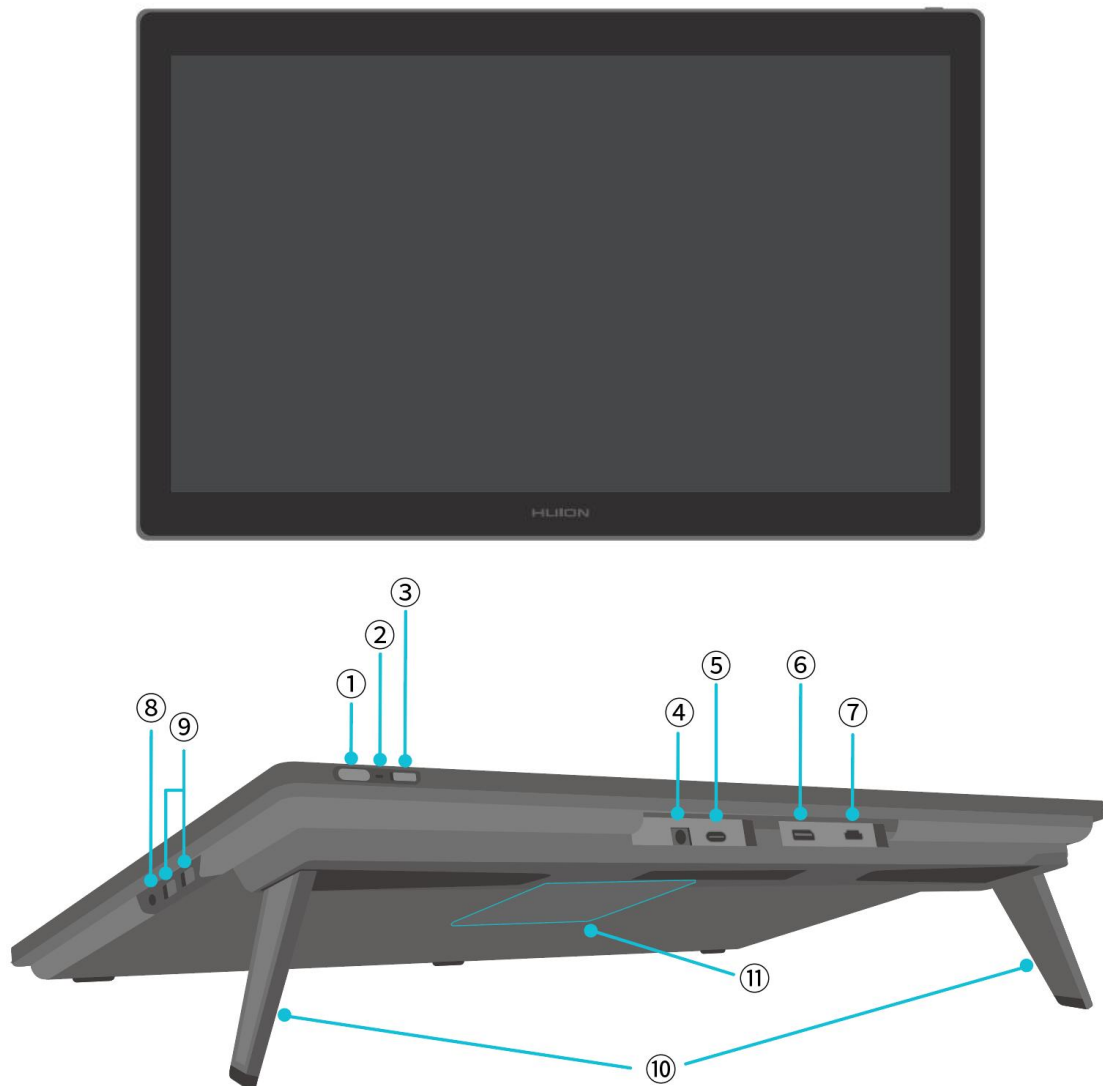
本機は、プロからアマチュアの方まで効率的なデジタル描画を楽しむことができるペンディスプレイです。ブラシの太さ、濃さ、色を自在に変えながら、紙に書くような描き心地をデジタルペンと共にお楽しみください。

本製品を十分にご理解いただき、より快適にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになることをお勧めします。

注意：取扱説明書に掲載されている写真は、あくまでも参考であり、本製品の設計や機能をご理解いただくためのものです。デザインや仕様は予告なく変更される場合があります。

1. 製品について

1.1. 製品について



① 電源ボタン/ディスプレイ設定ボタン

短く押す： ペンディスプレイのオン/オフ。

ペンディスプレイがオンになっているときに 3 秒間の長押し： オンスクリーンの調整メニュー

ー ([ペン対応の OSD メニュー](#)) を呼び出します。

② インジケータランプ

白色の光: 動作状態

赤色の光: スリープ状態

消灯: 電源に接続されていない/ペンディスプレイがオンになっていない

③ スライドスイッチ

スイッチを左右にスライドすると、フィンガータッチ機能を無効または有効にすることができます。

④ 電源入力

電源供給のために 19V 4.74A の電源アダプターを接続します。

⑤ フル機能 Type-C ポート

フル機能 USB-C ケーブルに対応したコンピュータに接続し、手書きデータを転送します。

⑥ ディスプレイポート

ディスプレイポート信号を伝送します。

⑦ HDMI ポート

HDMI 信号を伝送します。

⑧ 3.5mm ヘッドフォンジャック

3.5mm コネクタを接続します。

⑨ USB-A ポート × 2

USB フラッシュドライブ、キーボード、マウスなどを接続します。

⑩ 内蔵スタンド

0°から 20°まで調整可能な 2 つの内蔵スタンドが、正しい視野の高さと安定した支えを可能にします。

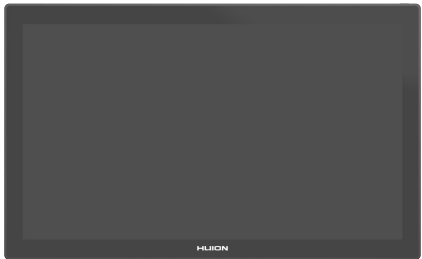
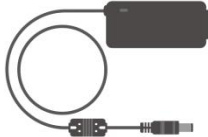
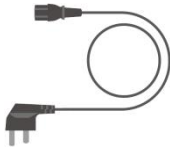


⑪ VESA 規格








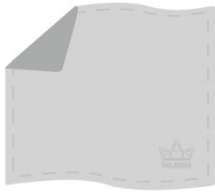

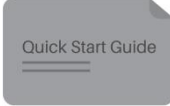

100mm×100mm の VESA 規格を備える Kamvas Pro 27 (144HZ) ペンディスプレイには、規格に準拠した様々な VESA ブラケット([HUION Store](https://www.huion.com/store/)で購入可能)、または他のブラケットやアームに取り付けることができ、ペンディスプレイの角度や位置を幅広く調整することができます。

注意: Kamvas Pro 27 (144HZ) ペンディスプレイの重量は約 6.5kg です。別途購入するブラケットまたはアームがその重量を支えることができるか確認してください。支えることができない場合、設置時に安全上の問題が発生する可能性があります。

1.2. 付属品

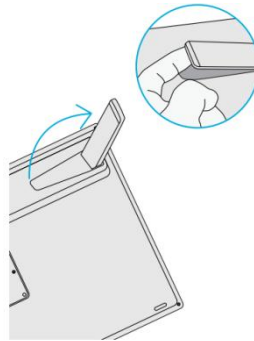
開梱後、以下の部品が届いていることを確認してください:

Kamvas Pro 27 (144HZ) ペンディスプレイ	
AC 電源アダプター	
AC 電源コード(1.8m)	
HDMI ケーブル(1.8m)	
フル機能 USB-C ケーブル(1.8m)	

USB-A&USB-B ケーブル(1.8m)	
PW600 デジタルペン	
PW600S デジタルペン	
PN06 スタンダードペン先×5 (ペンケース内部)	
PN06F フェルトペン先×5 (ペンケース内部)	
ペンケース (ペン先クリップ、ペン先内蔵)	
K40 Keydial Remote	
クリーニングクロス	
アンチタッチグローブ	
クイックスタートガイド	
G1 GTCOLOR キャリブレーター	

1.3. スタンドの設置と使用方法

ペンディスプレイ Kamvas Pro 27 (144HZ) には、背面に 2 つのスタンドが内蔵されており、
広げて使用することができます。



注意:

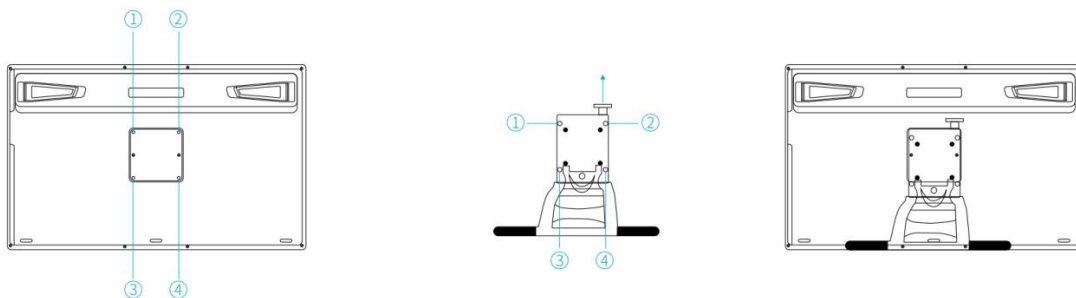
1.内蔵スタンドに加え、ペンディスプレイの背面にある VESA 規格を利用すれば、規格に準拠した様々な VESA ブラケット([HUION Store](https://www.huion.com/jp/store) で購入可能)、または他のブラケットやアームに取り付けることができ、ペンディスプレイの角度や位置を幅広く調整することができます。

以下に、Huion ST100 アジャスタブルスタンドの取付例を説明します。ただし、スタンドは付属していないので、別途購入する必要があります:

①スタンドの 4 つの取り付け穴とペンディスプレイ背面の 4 つの VESA 規格の位置を合わせ、ネジを締めます。

②設置後、スライダバーを引いてスタンドの角度(30°~85°)を調整してください。

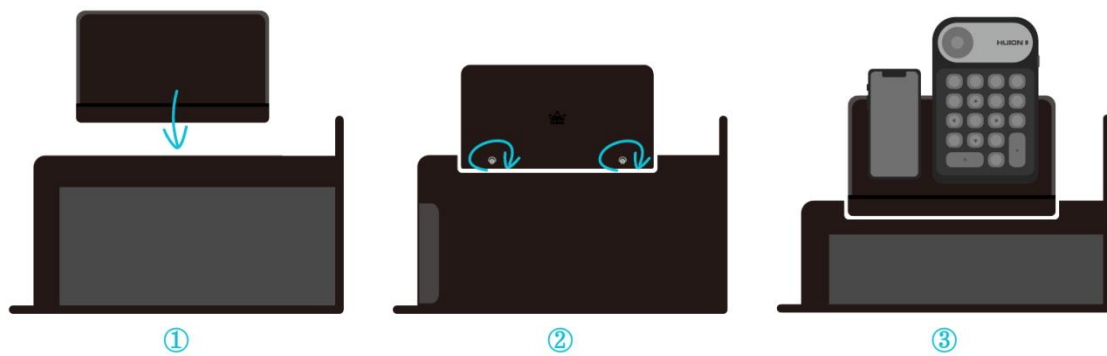
③適切な角度に調整すると、ペンディスプレイを使い始めることができます。



2.ペンディスプレイはキーボードトレイ ([HUION Store](https://huion.com/jp/store) で購入可能)やその他のブランケットと組み合わせて使用することで、キーボードや携帯電話などが置きやすくなります。

以下に、Huion KH01 キーボードトレイの取付例を説明します。ただし、キーボードトレイは付属していないので、別途購入する必要があります：

- ①キーボードトレイをペンディスプレイの適切な位置に固定します。
- ②キーボードトレイの背面のネジを締めます。
- ③設置後、キーボードや携帯電話などと一緒に使用することができます。

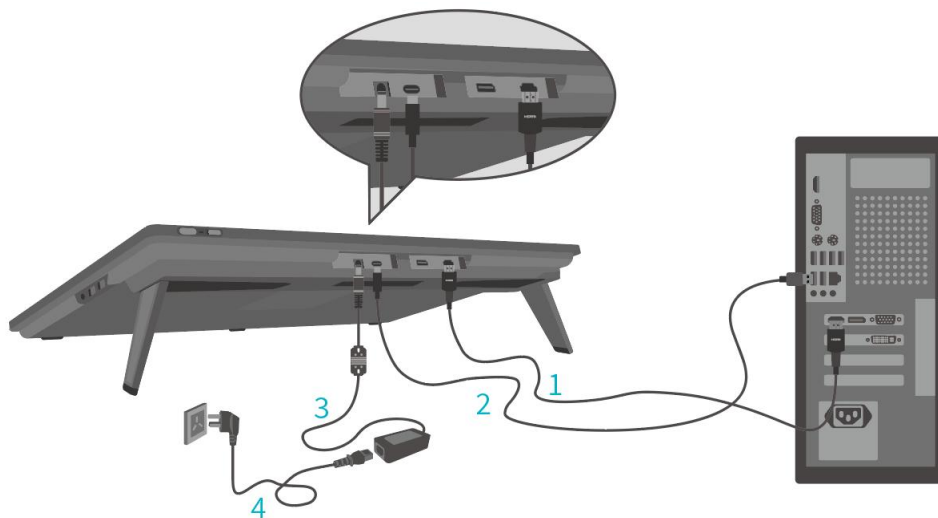


2. 接続する

ペンディスプレイは、パソコンや Android 端末に接続することができます。以下の接続方法をご参照ください。

2.1. HDMI ケーブルによる接続

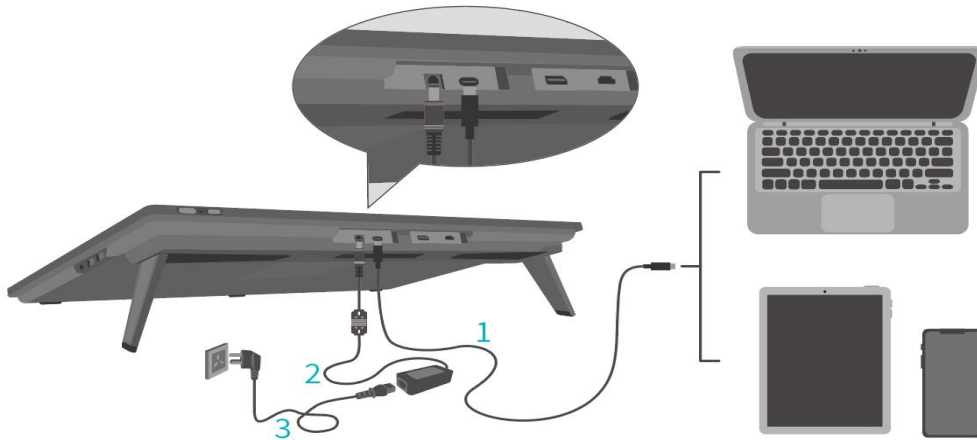
- 1.HDMI ケーブルの一方の端をコンピュータの HDMI ポートに差し込み、もう一方の端をペンディスプレイの HDMI ポートに差し込みます。
- 2.USB-A&USB-C ケーブルの USB-C コネクタをペンディスプレイの USB-C ポートに差し込み、USB-A コネクタをコンピュータの USB-A ポートに差し込みます。
- 3.電源アダプターのコネクタをペンディスプレイの電源ポートに差し込みます。
- 4.電源アダプターを電源コードに接続し、電源コードをコンセントに差し込みます。



2.2. フル機能 USB-C ケーブルによる接続

- 1.フル機能 USB-C ケーブルの一方の端をペンディスプレイの USB-C ポートに差し込み、もう一方の端をコンピュータ/タブレット/Android デバイスまたはドッキングステーションの USB-C ポートに差し込み、信号とデータを転送します。
- 2.電源アダプターのコネクタをペンディスプレイの電源ポートに差し込みます。

3.電源アダプターを電源コードに接続し、電源コードをコンセントに差し込みます。



3. ドライバをインストールする

3.1. Windows

ご注意:

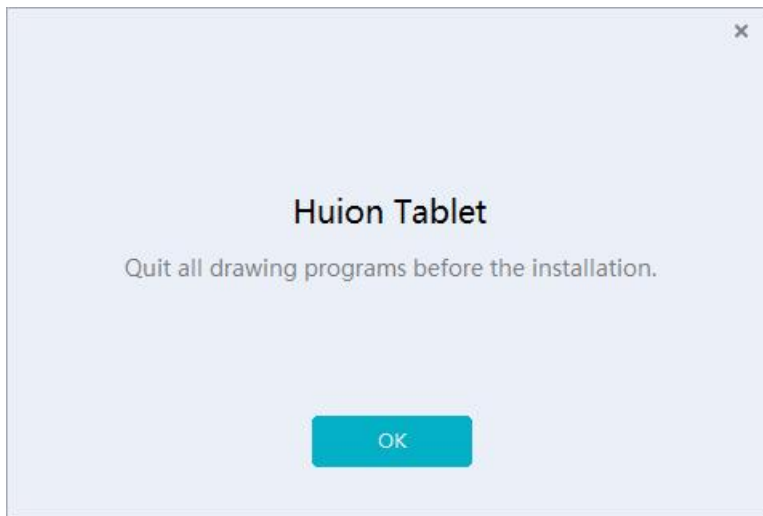
- ① ドライバをインストールする前に、すべてのグラフィックソフトウェアとアンチウイルスソフトウェアを終了してください。
- ② お使いのデバイスの OS が Windows 10 以降であることを確認してください。
- ③ 接続に失敗する場合は、ドライバまたはパソコンを再起動してください。
- ④ ドライバーをアンインストールすると、特定のアプリケーションによってはキーボードに原因不明な問題が発生する場合があります。その場合は、ドライバーを再インストールしてください。これにより、キーボードはデフォルト設定に戻ります。

3.1.1. ドライバーのインストール方法

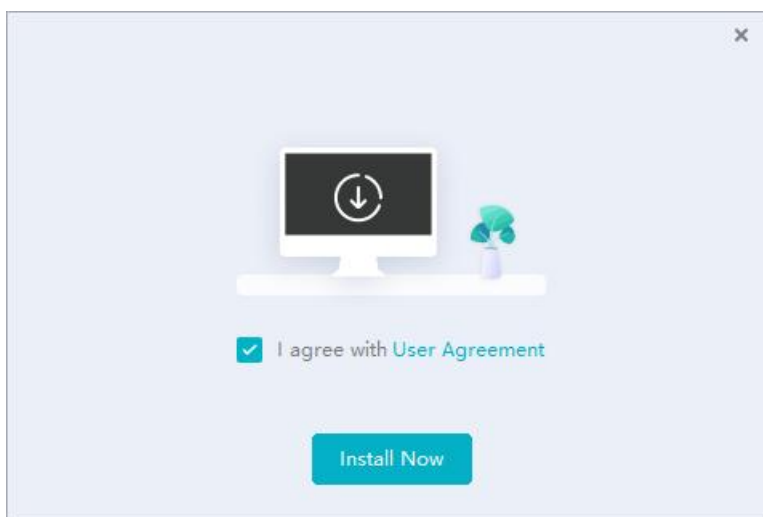
1.コンピューターにペンディスプレイを接続します。

2.デバイス用の最新ドライバーを入手するには、[Driver-Kamvas Pro 27 \(144HZ\)](https://www.huion.com/jp/driver-kamvas-pro-27-144hz/)をクリックしてください。

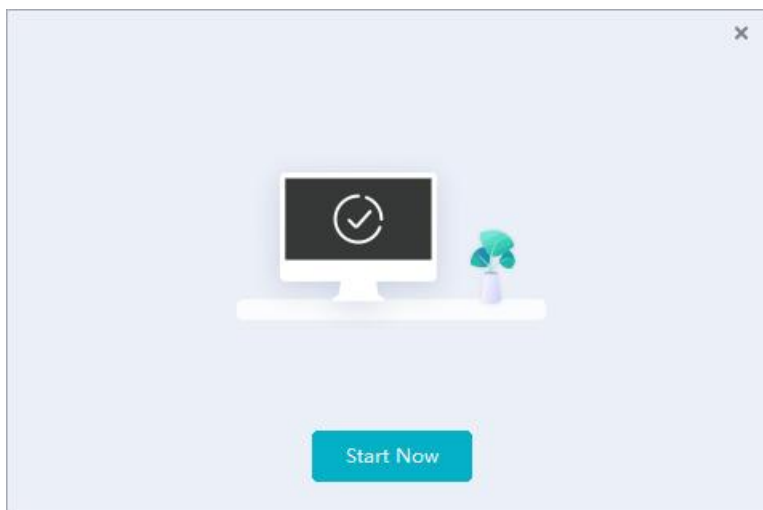
1. ドライバをダブルクリックし、「OK」をクリックして次に進みます。



2. 利用規約に同意して、「今すぐインストール」をクリックします。



3. インストールが完了したら、「今すぐ試す」をクリックします。



6. ドライバを起動し、Kamvas Pro 27 (144HZ) の画像が表示されたら接続完了です。



3.2. macOS

ご注意:

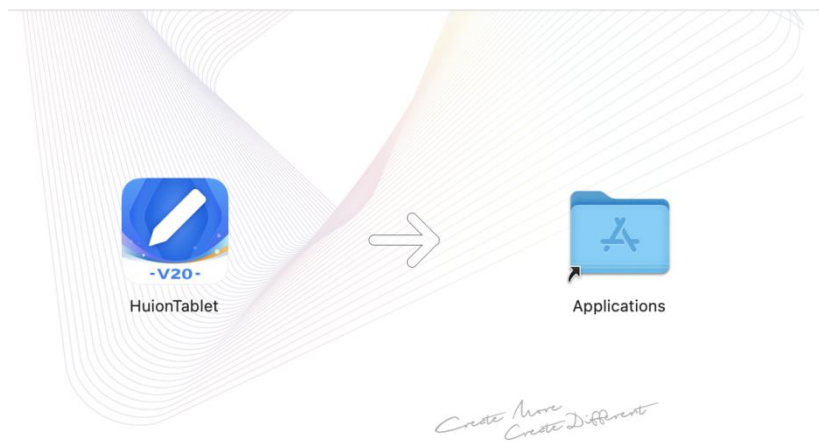
- ① お使いのデバイスの OS が macOS10.12 以降であることを確認してください。
- ② 接続に失敗した場合は、ドライバまたはコンピュータを再起動してください。
- ③ ドライバーをアンインストールすると、特定のアプリケーションでペンディスプレイの筆圧感知が効かないなどの問題が発生することがあります。この場合、ドライバーを再インストールすれば、ペンディスプレイはデフォルト設定に戻ります。

3.2.1. ドライバーのインストール方法:

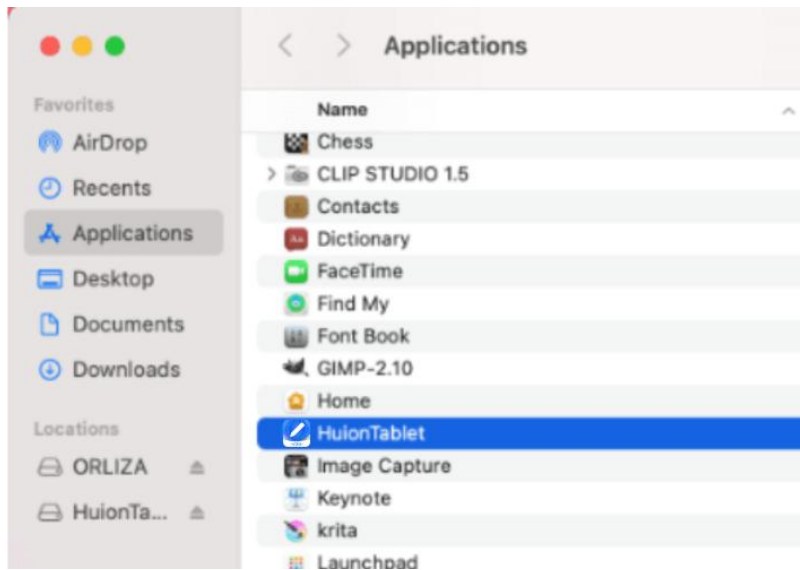
1. コンピューターにペンディスプレイを接続します。

2. デバイス用の最新ドライバーを入手するには、[Driver-Kamvas Pro 27 \(144HZ\)](#) をクリックしてください。

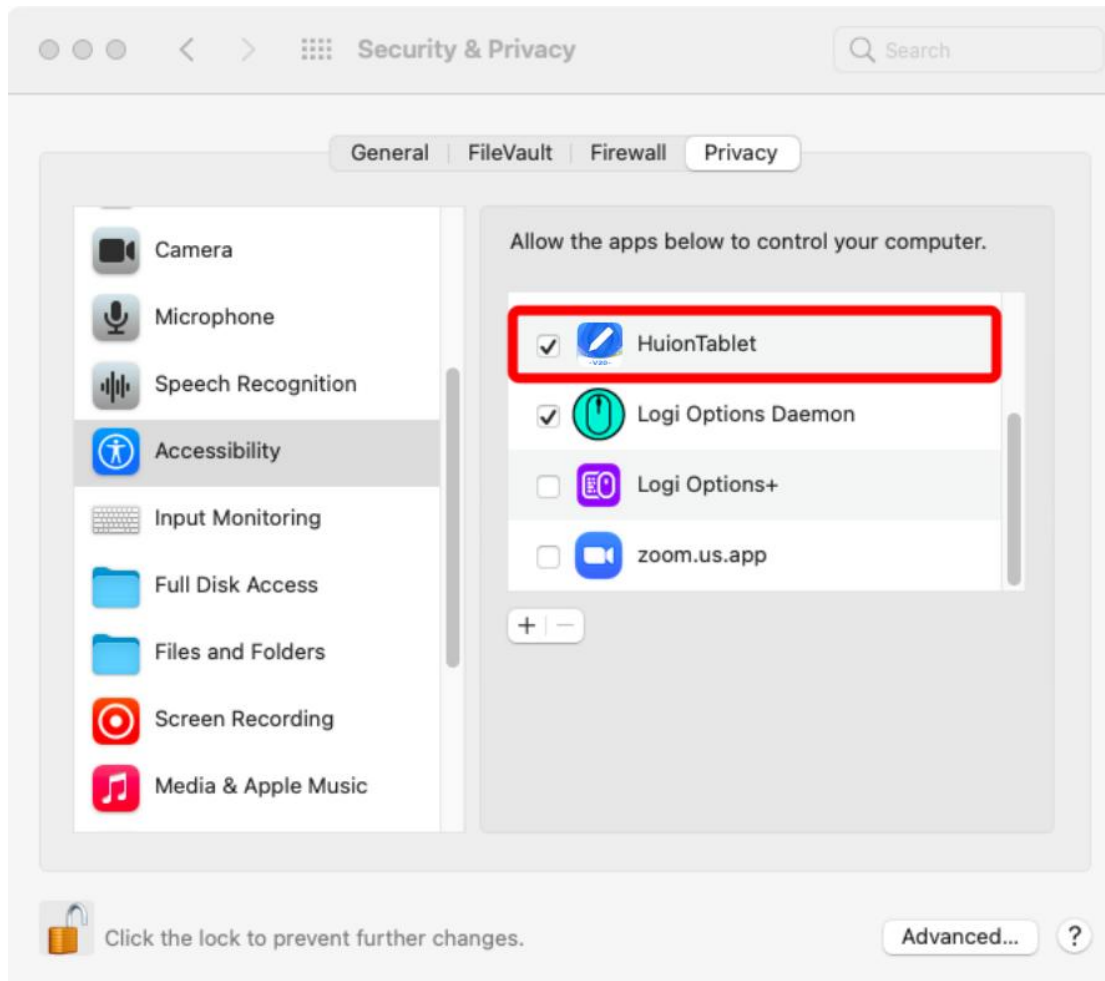
1. ドライバーファイルを解凍し、"HuionTablet"アイコンを"Applications"フォルダにドラッグしてください。



2. フォルダを開き、HuionTablet ドライバアプリをダブルクリックします。



3. ペンタブレットを Mac に接続し、「システム環境設定を開く」をクリックします。「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」→「アクセシビリティ」と進み、鍵のアイコンをクリックして設定を解除します。HuionTablet ドライバアプリ左側のチェックボックスにチェックを入れ、アクセシビリティを有効にします。次に、鍵アイコンをクリックして、設定をロックします。



6. ドライバを起動し、Kamvas Pro 27 (144HZ)の画像が表示されたら接続完了です。



4. デジタルペンの使用方法

Kamvas Pro 27 (144HZ) ペンディスプレイには新世代のデジタルペン「PW600」と「PW600S」が搭載されており、ペンの先端には消しゴムボタンがついています。この消しゴムボタンは、鉛筆の消しゴムのように使うことができ、ペンの消しゴムを使用するグラフィックアプリケーションでは自然な感覚で消すことができます。

両方のデジタルペンには、滑り止め付きシリコングリップが採用されており、長時間ペンを持続けても疲れにくくなっています。PW600 は、3つのプログラム可能なサイドボタンと1つの消しゴムボタンが付いており、PW600S は、2つのプログラム可能なサイドボタンと1つの消しゴムボタンが付いています。これらにより、よく使う機能に簡単にアクセスでき、効率を大幅に上げることができます。

ペンの持ち方:

ペンを持つときと同じようにデジタルペンを持ちます。親指や人差し指でペンのキーを押せるように向きを調整してください。使用時に誤って触れないようご注意ください。

注意: ペンディスプレイを使用しないときは、ペンをペンディスプレイに置かないください。マウスや他のデバイスの機能を妨げる可能性があり、またコンピュータがスリープモードに入るのを妨げるおそれがあります。

カーソルの移動:

ペンディスプレイの作業範囲の少し上にペンを画面に触れることなく移動させると、画面上のカーソルがそれに応じて新しい位置に移動します。

クリック:

ペンでペンディスプレイの作業範囲をタップして、クリックを設定します。軽く押すと画面上のアイテムをハイライト表示や選択することができ、長押しでアイテムをドラッグし、ダブルクリックでアイテムを開くことができます。

移動:

ファイルやアイコンを選び、その後ペンの先端を画面上でスライドさせて移動させます。

消去:

消しゴムボタンを消去したい範囲の上に動かし、鉛筆の消しゴムのように使用します。

ペンプレスキーの使用:

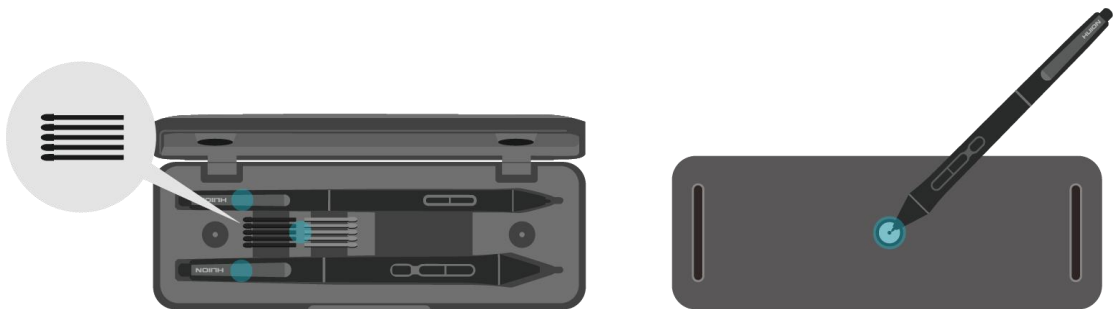
ペンプレスキーの機能はドライバーでプログラムすることができます。ペンの先端とペンディスプレイとの垂直距離が感知できる高さ（10mm）の範囲内であれば、ペンプレスキーは機能します。ペンプレスキーを使用したくない場合は、ドライバーで機能しないようにを設定できます。

ペン先を交換する:

ヒント: ペン先が摩耗したら新しいペン先と交換してください。

1. ペンケースを開け、交換用のペン先を取り出します。

2. ペンを傾け、ペンケースの背面にある内蔵のペン先クリップを通して、古くなったペン先を引き抜きます。
3. 新しいペン先を奥までしっかりと挿入します。



5. 静電容量方式タッチの使用法

Kamvas Pro 27 (144HZ) は、静電容量方式タッチスクリーンパネルを採用しています。10点マルチタッチに対応しており、制作効率を大幅に向上させることができます。マルチタッチをオフ/オンにするには、スイッチを左右にスライドします。

一般的な機能		
指	ジェスチャー	アクション
指 1 本	タップ	選択
	ダブルタップ	ファイルを開く
	長押し	その他のコマンドを表示する（右クリックなど）
	長押し & ドラッグ	ファイルを移動する
指 2 本	水平/垂直にスライド	スクロール
	ピンチイン/ストレッチアウト	ズームアウト/ズームイン
指 3 本	上にスワイプ	開いているすべてのウィンドウを表示
	下にスワイプ	デスクトップを表示
	左/右にスワイプ	開いているアプリやウィンドウの切り替え
指 4 本	上にスワイプ	開いているすべてのウィンドウを表示
	下にスワイプ	デスクトップを表示
	左/右にスワイプ	デスクトップの切り替え

6. Huion Tablet ドライバー

6.1. ドライバーホームページ



6.1.1. 新機能ガイド

ユーザーはここで新機能ガイドを確認することができ、ドライバーの基本機能や設定をすばやく使いこなすことができます。

右上隅の「閉じる」ボックスをクリックするか、ガイドを完了することでページを閉じることができます。



6.1.2. アプリケーション設定

ユーザーはここでドライバーのグローバル設定を調整することができます。設定項目には、ドライバーのバージョンや更新、問題のフィードバック、テーマ、言語、ソフトウェアのホットキー、プライバシー規約などが含まれます。



機能の概要:

自動更新	有効にすると、更新が自動的に確認され、インストールされます。
更新ログ	クリックすると公式の更新ログにアクセスすることができます。
更新の確認	クリックすると、ドライバーのバージョンが最新かどうか確認することができ、必要に応じて更新の案内が表示されます。
診断の開始	クリックできない、線が引けない、またはアプリケーションで圧力感知が不足している等の問題が生じた場合、「診断の開始」をクリックすることで、その原因を調査できます。
公式ウェブサイト	ブランドアイコンをクリックすると、Huion の公式ウェブサイトへアクセスできます。
フィードバック	「フィードバック」をクリックすると、コンピュータ上でメールアプリケーションが自動的に起動し、デバイス情報が事前に入力され、標準的

	な質問形式が表示されます。
テーマ	テーマカラーを変更し、ソフトウェアを再起動して設定を有効にします。
言語	ドロップダウンボタンをクリックして希望する言語を選択し、ソフトウェアを再起動して設定を有効にします。
ホットキー	<p>ドライバーインターフェースを開く：デフォルトのショートカットを使用してドライバーインターフェースを迅速に表示することができます。</p> <p>自分のスタイルに合わせて独自のショートカットも設定することができます。</p> <p>マッピング画面の切り替え：デフォルトのショートカットを使用して、ペンタブレット/ペンディスプレイにマッピングされた画面を切り替えることができます。好みに応じて独自のショートカットを設定することも可能です。この画面切替ホットキーは、Huion タブレットドライバーで現在選択されているデバイスに対してのみ動作します。</p> <p>ドライバーインターフェースを開くためのショートカットを初期状態に戻したい場合は、「デフォルトにリセット」をクリックします。</p>
その他の許可	<p>診断および使用情報の共有：製品やサービスの改善のために、診断および使用データを自動的に送信します。</p> <p>起動時に自動的に開始：コンピュータの電源がオンになると、ドライバーが自動的に開始されます。</p> <p>管理者権限：この項目は Windows OS でのみ使用可能です。ドライバーは現在のドライバーページが管理者権限で開かれているかどうかを識別します。この項目は、現在のドライバーページが管理者権限で開かれて</p>

いない場合にのみ表示されます。

6.1.3. デバイス

デバイス画像をクリックすると、選択したデバイスの設定をカスタマイズできるデバイスページに進みます。

6.2. デバイスページ



6.2.1. デバイス名

1. 選択したデバイスの名前がページの左上隅に表示されます。ドロップダウンボックスをクリックすることで、デバイス間を切り替えることができます。



2. 新しいデバイスが正常に接続されると、通知が表示されます。



6.2.2. 新しいソフトウェアの追加

1. 選択したソフトウェアに対して機能の組み合わせを個別に設定することができます。右

上隅のプラスボタンをクリックすると、デバイス上で最近開いたソフトウェアが表示されます。設定が必要なソフトウェアを選択し、プリセットソフトウェアとして追加します。また、ソフトウェアアイコンにカーソルを合わせると、削除ボタンが表示され、クリックすることで削除できます。

2. プリセットソフトウェアに切り替えると、そのソフトウェアの設定オプションに自動的に切り替わります。
3. 必要なソフトウェアが見つからない場合は、「その他のプログラム」をクリックして、コンピュータから新しいソフトウェアを追加することができます。



6.2.3. デバイス設定

デバイス設定ウィンドウで、ファームウェアの確認や、カーソルのキャリブレーション、ペン設定、バックアップ設定を変えることができます。



デバイス設定オプション:

デバイス情報	デバイスモデルとファームウェアバージョンが含まれます。
カーソルキャリブレーション	「カーソルキャリブレーション」をクリックし、キャリブレーションページに行き、説明書に従ってキャリブレーションを行なってください。もし、間違えてクリックして、カーソルキャリブレーションがうまく行かなかった場合、「工場出荷状態へのリセット」を押してキャリブレーションをやり直してください。
傾き	本当のペンの傾きを再現できます。右側のトグルをクリックし、傾き機能をON/OFF できます。
ペン先	ペン先機能には、圧力感知や、クリックなどがあります。右側のトグルスイッチを押すことで、ペン先の ON/OFF ができます。
バックアップ	ファイルマネージャーを開き、設定ファイルを選択してバックアップをイン

プのインポ ート	ポートします。
バックアッ プのエク スポート	現在の設定をローカルファイルとしてエクスポートし、ファイル名を付けます。
デフォルト 設定	現在のデバイスのすべての設定をデフォルトにリセットします。

6.2.4. 機能ナビゲーションバー

押しボタン、作業エリア、バーチャルキーボード、デジタルペンは、好みによってカスタマイズできます。ナビゲーションバーの対応するボタンを押し、それぞれの設定ページに行くことができます。

6.2.5. 困ったときは

[?] を ク リ ッ ク す る と サ ポ ー ト ペ ー ジ <https://support.huion.com/ja-JP/support/home> にアクセスできます。ユーザーマニュアルのダウンロードや不具合報告にご活用ください。

6.3. アクティブエリア設定

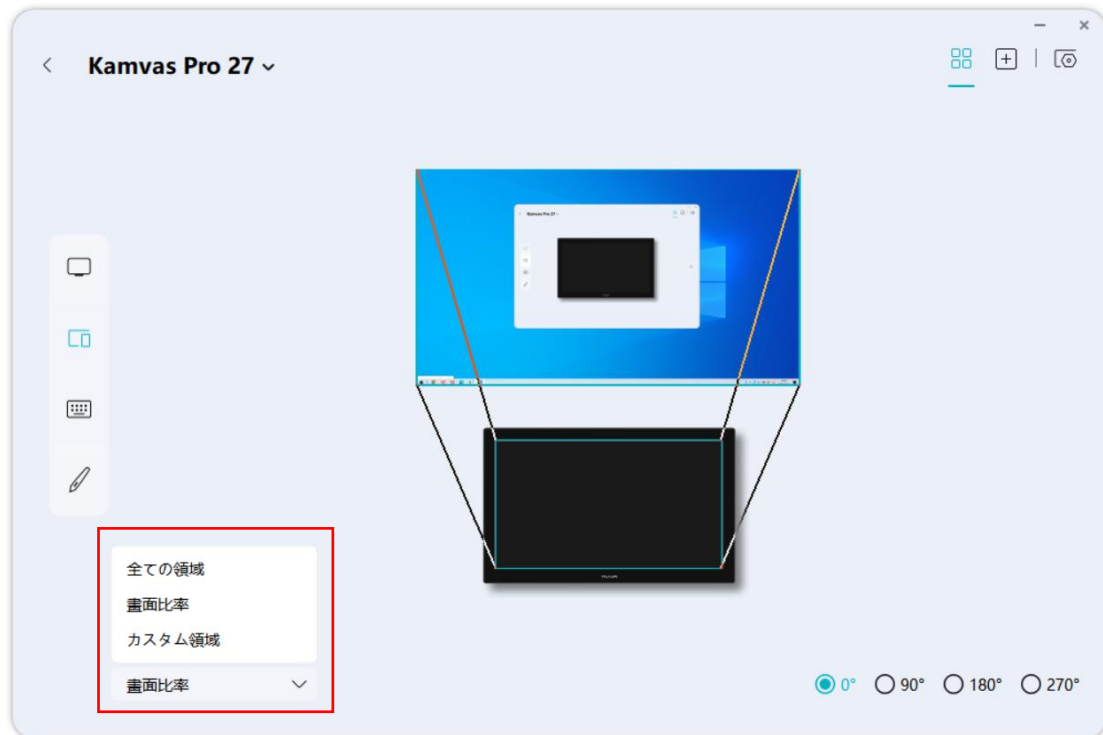
[作業領域]タブではペンとモニターの移動範囲を設定できます。初期設定では画面全体がアクティブエリアとして設定されています。

拡張モードで複数のモニターを使用する場合は、対応するモニターとアクティブエリアをドラ

イバで設定します。

複製モード (全てのディスプレイで同じコンテンツを表示) では、アクティブエリアとカーソルは全てのディスプレイで同じ表示となります。

画面の任意の部分をアクティブエリアとして設定できます。



[1] 全ての領域

画面全体をアクティブエリアとして設定します。初期設定は [全画面] です。

[2] 画面比率

ペンディスプレイの作業エリアの比率は、ペンディスプレイを接続したモニターと同じです。

例えば、「スクリーン比率」を選択し、ペンディスプレイで丸を描くと、丸は、ペンディスプレイのものと同じ形を保ちます。

ペンディスプレイの一部分は、スクリーン比率モードでは、機能しない場合があることに留意してください。しかし、「スクリーン比率」が選ばれていない場合、描かれた図形は、歪む可能性があります。例えば、丸を描いた時、丸は、モニター上では、楕円になってしまう可能

性があります。作業エリアの最適な表示と活用するために、描画や、精密な操作を行う場合は、「スクリーン比率」を選択することをお勧めします。

[3] カスタム領域

画面の任意の部分をアクティブエリアとして設定できます。

方法 1. 座標を入力します。

方法 2. 図 1 のようにアクティブエリアのラインを動かして調整します。カスタムモードではユーザーが指定したアクティブエリアでのみペンを使用することができます (図 2、図 3 を参照)。



図 1

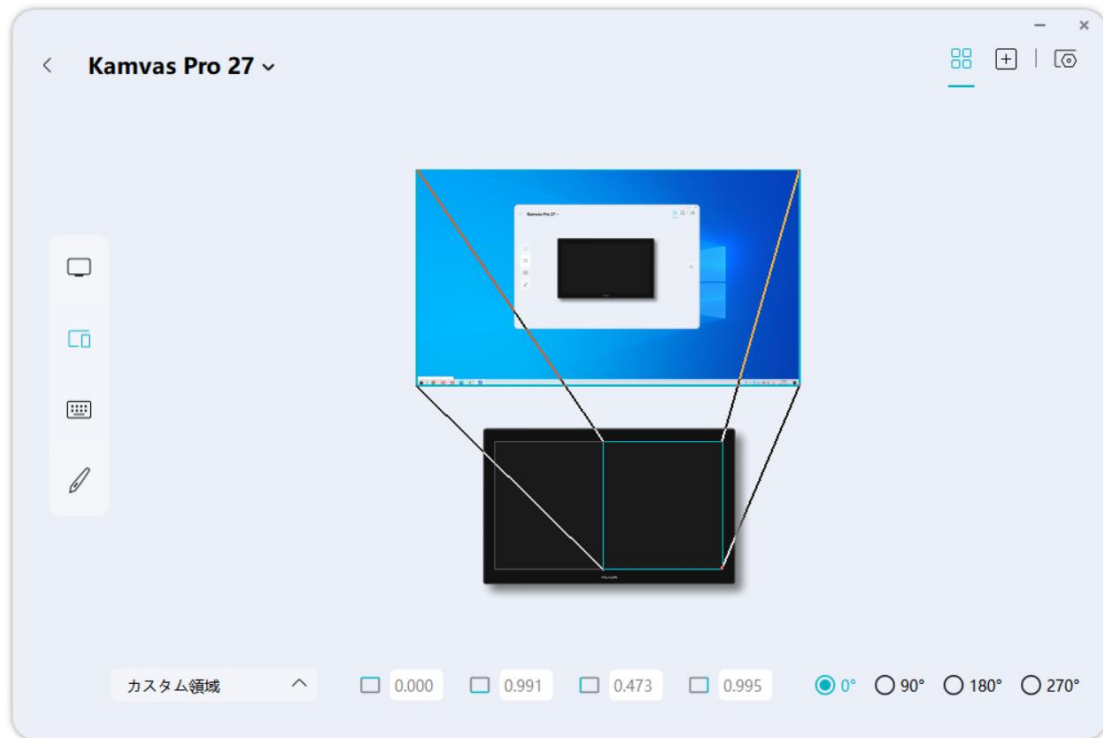
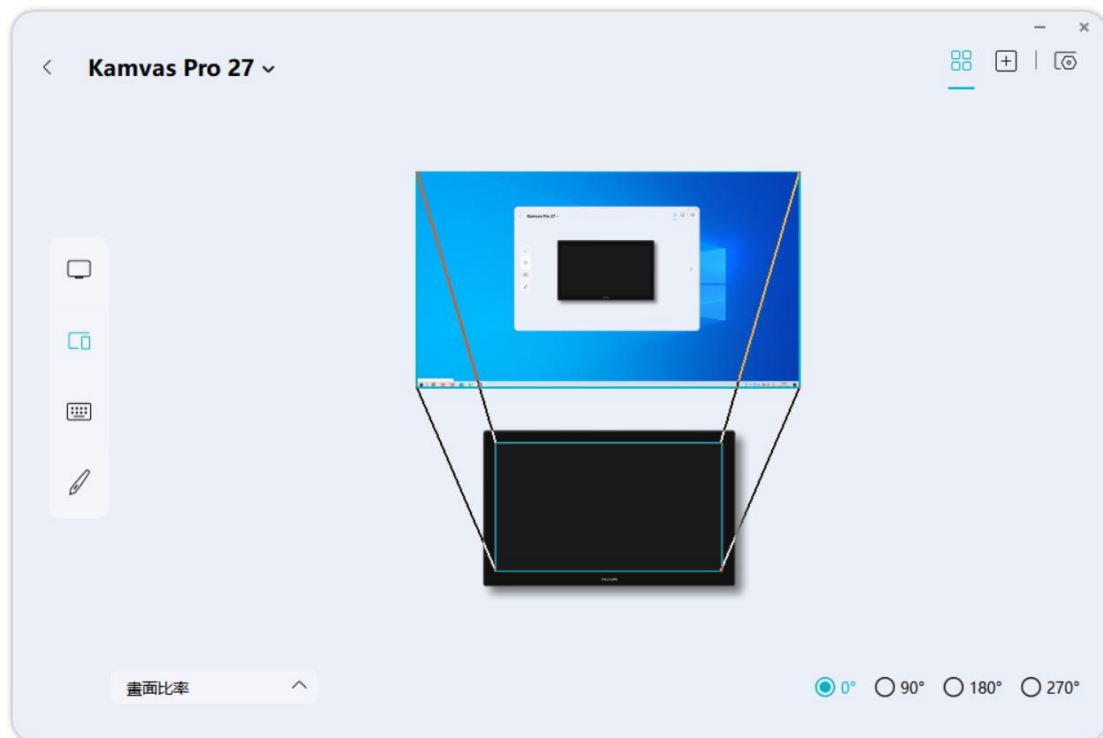
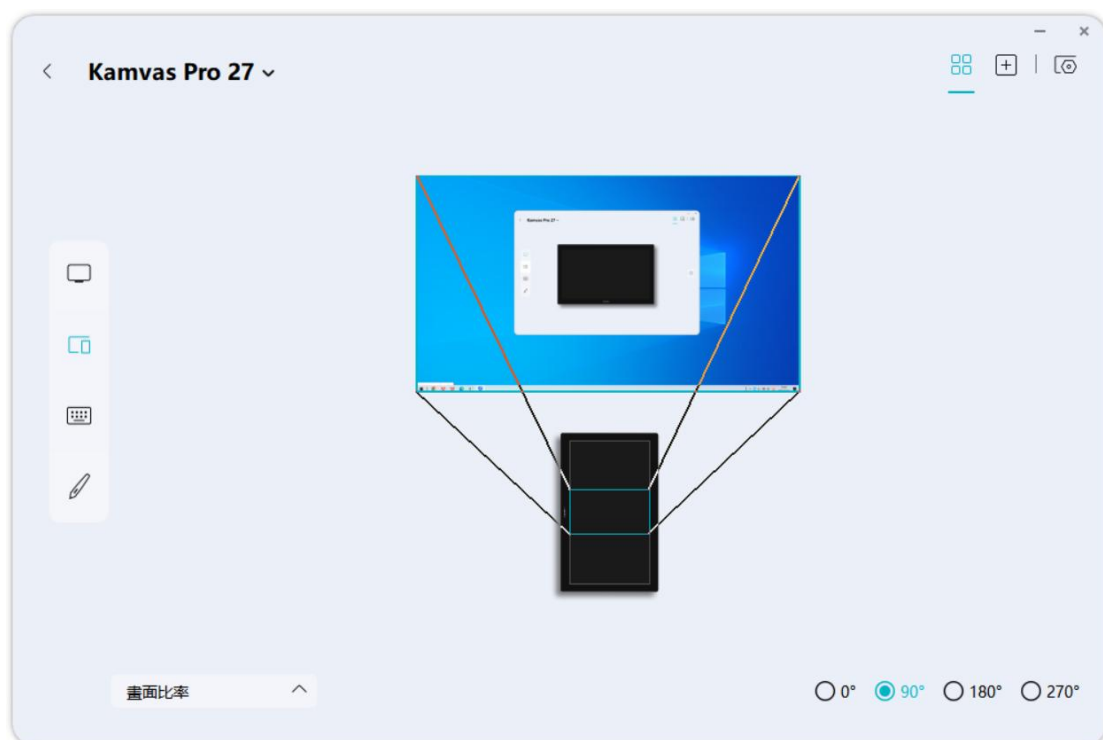


図 2

6.3.1. アクティブエリアの回転

ペンディスプレイの方向を変更して、左利きまたは右利きの操作に合わせることができます。

ペンディスプレイを 0°、90°、180°、または 270°回転させることができます。


 1

 2

6.4. バーチャルキーボード

バーチャルキーボードは、スクリーン上で、高度にカスタマイズ可能なインタラクティブなツールで、テキストの入力や、マウスや、デジタルペンを使ったコマンドの実行を行うことができます。20 個のキーボードレイアウトを作成、保存でき、それぞれに、名前やサイズ、透明度、自分に合ったボタン機能をカスタマイズ、調整することができます。



6.4.1. バーチャルキーボードを作成/削除する

- ① 「+」をクリックし、バーチャルキーボードを作成してください。
- ② 円形キーボード、矩形キーボード、横並びリスト型のキーボード、縦並びリスト型のキーボードの中から、好みのキーボードを選ぶことができます。
- ③ 「バーチャルキーボード」のトグルを ON にし、デスクトップでのバーチャルキーボードを有効化し使用することができます。
- ④ 削除したいキーボードを選択します。
- ⑤ 削除アイコンをクリックしてください。



⑥ ポップアップが現れ、「OK」を押すことで、選択したキーボードを消すことができます。

6.4.2. バーチャルキーボードの有効化

バーチャルキーボードを ON にした後、デスクトップ上にキーボードが表示され、一回使用した後に、消えるように設定されています。右上隅のピンボタンを押すと、常にキーボードを表示することが可能です。ボタン以外のキーボードのどこかを長押しすることで、キーボードをドラッグできます。

6.4.3. 5.4.3. 名前

名前入力欄にバーチャルキーボードの名前を編集することができます。デフォルトの名前は、キーボードのタイプで、空欄にすることはできません。

6.4.4. サイズ

スライダーをドラッグしたり、スライダーをクリックすることで、必要に応じたバーチャルキ

ーボードのサイズを調整することができます。有効になっていないバーチャルキーボードのサイズを設定している場合、対応するキーボードが自動で開かれ、そのサイズを調整できます。そして、調整が完了した 3 秒後自動で閉じられます。

6.4.5. 透明度

バーチャルキーボードが視界を邪魔しないように、スライダーをドラッグしたり、スライダーバーをクリックすることで、バーチャルキーボードの透明度を必要に応じて調節することができます。有効化されていないバーチャルキーボードの透明度を設定している時は、対応するキーボードが自動で開かれ、透明度を調整できます。そして、調整が完了した 3 秒後自動で、閉じられます。

6.4.6. ボタン設定

バーチャルキーボードのボタンをクリックし、対応するボタンの値を設定することができます。



バーチャルキーボードのボタン機能は、以下のように設定することができます:

名前の変更を クリック	クリックして、キーの名前を入力します。新しく編集した名前は、キー値とともに表示されます。
キーボード	入力ボックスをクリックし、有効なキーコンビネーションを入力してショートカットを作成します。
テキスト	最大 500 語の事前定義済みテキストを出力します。
ツール	スクリーンの切り替えまたは、ブラシの切り替えを選択。
マルチメディア	前の曲、次の曲、再生/一時停止、音量を上げる、音量を下げる、ミュートなどの機能をキーに割り当てることができます。
表示/非表示	ドライバー設定とキーの値を表示または非表示にします。
プログラムの 実行	アプリケーション、ファイル、またはウェブサイトの URL アドレスを入力、または、「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択し、「OK」をクリックします。設定が完了したら、キーを押して対応するファイルを開きます。
機能なし	「None」を選択した場合、キーを押しても何の機能も実行されません。

6.5. デジタルペン

ユーザーは、このインターフェースで、押しボタン機能の割り当て、筆圧感度調整、圧力テストを含むペンの機能を設定することができます。



6.5.1. デジタルペンの切り替え

ペアリングしたデジタルペンのモデルは、ナビゲーションバーに表示され、個別に設定することができます。システムは、自動で接続されたペンを認識し、対応する設定を使用します。他のデジタルペンに切り替える時、システムは、対応するデジタルペンの設定インターフェースに切り替えます。カーソルがデジタルペンアイコンにある時、デジタルペンの名前が表示されます。デジタルペンアイコンの左上隅の「x」をクリックすることで、対応するペン設定を削除することができます。

6.5.2. ショートカットキー

デジタルペンを使用して、描画、書き込み、ファイルの移動、ショートカット機能の呼び出しを行えます。



押しボタンの機能は、以下のようになっています:

名前の変更をクリック	クリックして、キーの名前を入力します。新しく編集した名前は、キー値とともに表示されます。
キーボード	入力ボックスをクリックし、有効なキーコンビネーションを入力してショートカットを作成します。
テキスト	最大 500 語の事前定義済みテキストを出力します。
マウスボタン	マウスの左ボタン、右ボタン、中央ボタン、左ボタンのダブルクリック、スクロールホイール、その他機能の設定。
ツール	スクリーンの切り替えまたは、ブラシの切り替えを選択。
マルチメディア	前の曲、次の曲、再生/一時停止、音量を上げる、音量を下げる、ミュートなどの機能をキーに割り当てることができます。
表示/非表示	ドライバー設定とキーの値を表示または非表示にします。
精度モード	<p>スライダーを動かして、動かしたい精度を設定してください。高い精度にすると、精度モードのウィンドウは、小さくなります。</p> <p>ショートカットキーを押した後、精度モードのウィンドウは、カーソルの場所に現れます。ペンタブレットの作業エリア、または、ペンディス</p>

	プレイは、このウィンドウに割り振られます。ショートカットキーをもう一度押すと、精度モードから出ることができます。
移動/スクロール	ペン先を上下または左右に動かすことで、ドキュメントやアイテムを移動できる機能です。 移動/スクロールを選択すると、速度ウィンドウが表示されます。 スライダーを動かして速度を調整します。
バーチャルキーボード	それを選択し対応するバーチャルキーボード機能呼び出すためのショートカットキーを割り当てることができます。 ここをクリック してバーチャルキーボードの詳細を確認してください。
プログラムの実行	アプリケーション、ファイル、またはウェブサイトの URL アドレスを入力、または、「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択し、「OK」をクリックします。 設定が完了したら、キーを押して対応するファイルを開きます。
機能なし	「None」を選択した場合、キーを押しても何の機能も実行されません。

ご注意: 表示されるリストは機種によって異なる場合があります。ファームウェアアップデート等によりリスト内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

6.5.3. Windows Ink の有効化

Microsoft Windows は、デジタルペンによる手書き入力を独自にサポートしています。

Microsoft Office、Windows Whiteboard、Adobe Photoshop、SketchBook 6 などの手書き入力を使用するには、ドライバーで「Windows Ink を有効にする」にチェックを入れます。

注意: macOS と Linux OS はこの機能を使用できません。

6.5.4. 筆圧感度の調整

筆圧感度を設定する機能です。筆圧感度ボックス内のスライダーをドラッグしてカーブを調整します。リセットするには右上の「やり直し」をクリックします。5 種のプリセットからレベルを選ぶこともできます。

- ① クリック音や感触を設定
 - ② 筆圧感度のカーブを設定
 - ③ 筆圧最大時のレベルを設定
- 筆圧テストボックス内で線を描き、現在の筆圧感度を確認できます。見づらくなったら上の「消去」をクリックし、適切な感度になるまで調整を行います。
 - カーブが急になるほど感度が高くなります。



6.5.5. 筆圧テスト

筆圧カーブの変更や、最大圧力の調整した後、ペン先を筆圧テストエリアに押し当てることで、加えた圧力と、その結果の関係をリアルタイムで確認することができます。右のバーグラフは、リアルタイムで圧力の変化を表示します。筆圧テストエリアの上部の「クリア」をクリックすることで、描かれたストロークを消し、再度テストを行うことができます。この機能は、デジタルペンの筆圧感度設定を直感的に調整、テストでき、自身の使用スタイルに合っているかを

確認することができます。

6.5.6. 高度な設定

高度な設定で最大圧力を調整できます。最大圧力が低いほど、最大圧力に必要な力が少なくなります。初期設定では、最大に設定されています。



7. ペンを使ったOSD設定

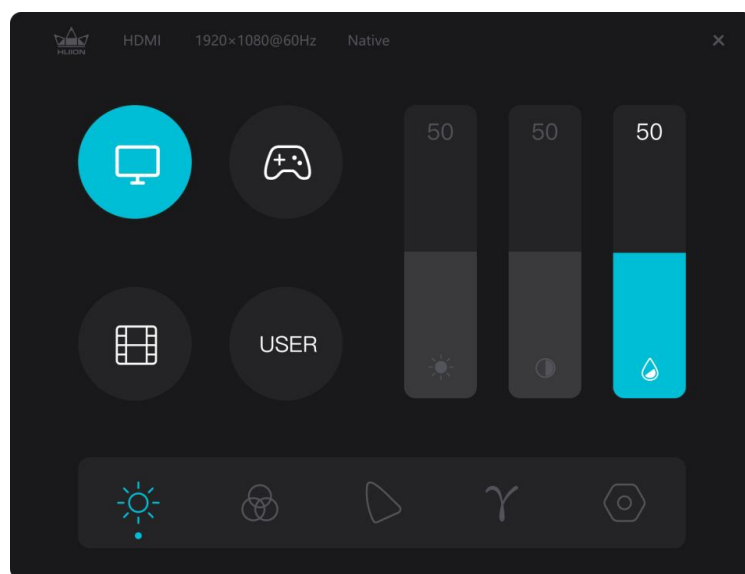
電源ボタンを3秒間長押しすると、OSDメニューを開くことができ、デジタルペンを使用して、このスクリーン上で、設定を調整することができます。



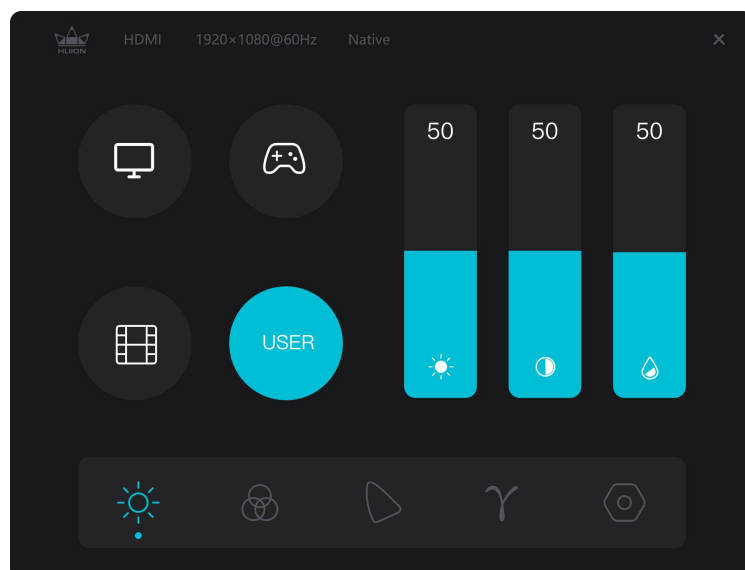
7.1. シーンモード

明るさの調整は太陽アイコンをクリックしてください。インターフェイス左上で次の4つのモードが選択できます：スタンダード・モード、ゲーム・モード、ムービー・モードおよびUSER（ユーザー）モード。右上に：明るさ、対比度と彩度があります。

スタンダード・モード、ゲーム・モードあるいはムービー・モードを選択した場合、右側の棒ののみが青で表示され、ユーザーはドラッグして彩度を調整できます。



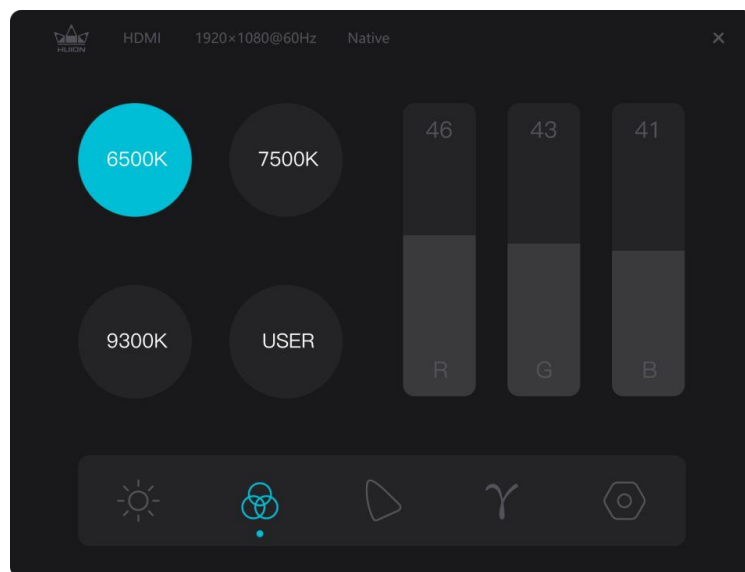
USER（ユーザー）モードを選択している場合、3つの棒すべてに青が表示され、ユーザーはドラッグして、明るさ、対比度および彩度を調整できます。



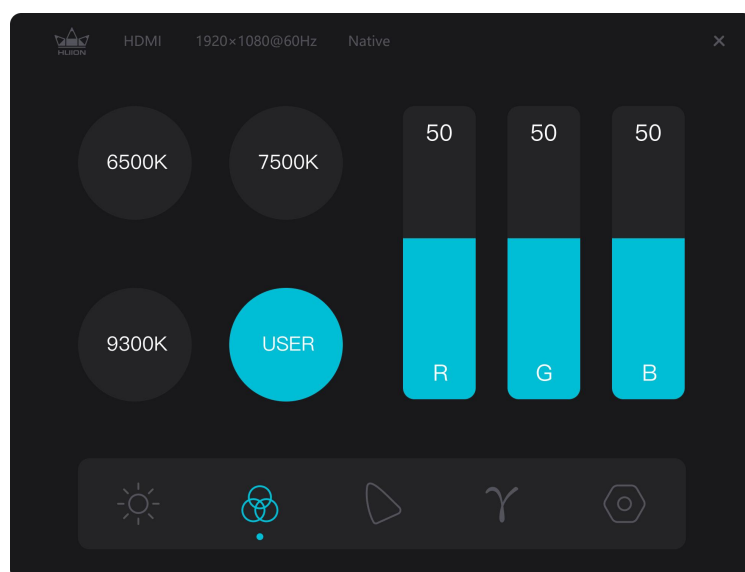
7.2. 色温度の設定

左上に 3 つの標準カラー温度 (6500K、7500K、9300K) およびカスタム化可能な USER (ユーザー) モードがあります。右上に RGB 色値、R (赤)、G (緑)、B (青) があります。

もし 6500K、7500K あるいは 9300K を選択している場合、3 つの棒すべてが黒く表示され、ユーザーは R (赤)、G (緑) あるいは B (青) を調整できません。

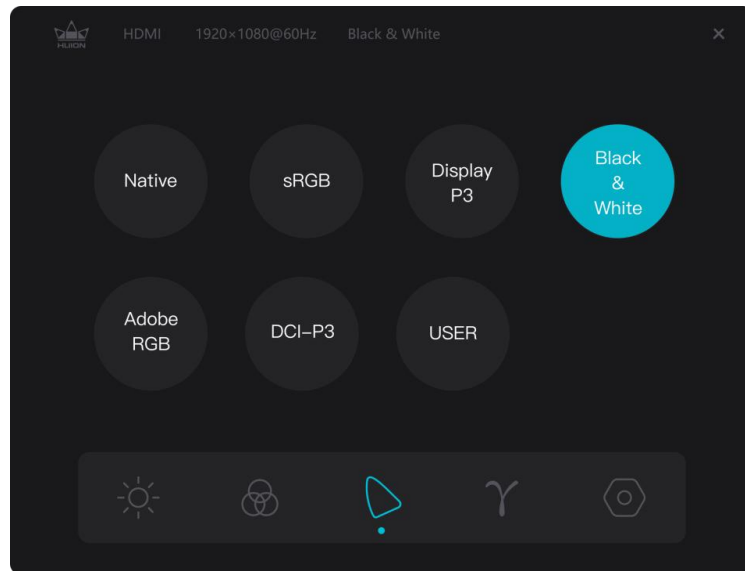


USER (ユーザー) モード選択の時、3 つの棒すべてが青で表示され、ユーザーはそれぞれドラッグして、R (赤)、G (緑) あるいは B (青) を調整できます。



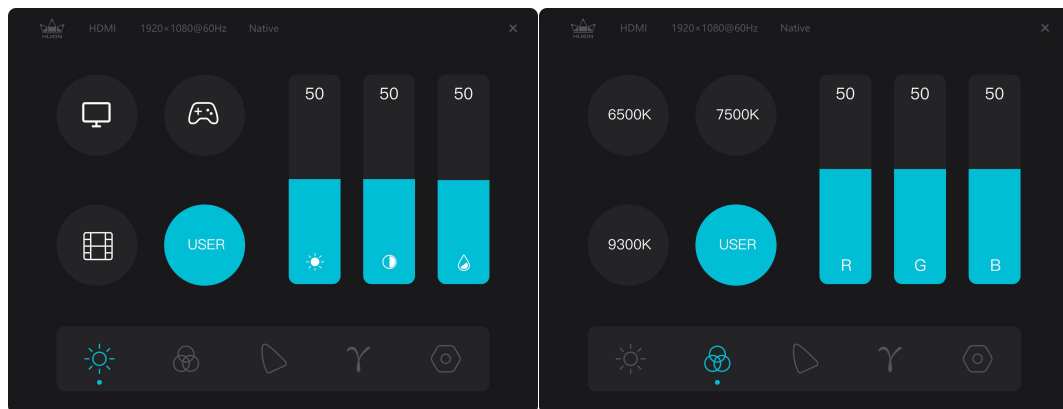
7.3. 色域の設定

インターフェースには、次のカラースペースオプションが表示されます：「ネイティブ」、
「sRGB」、「Display P3」、「白黒」、「Adobe RGB」、「DCI-P3」、「ユーザー」。

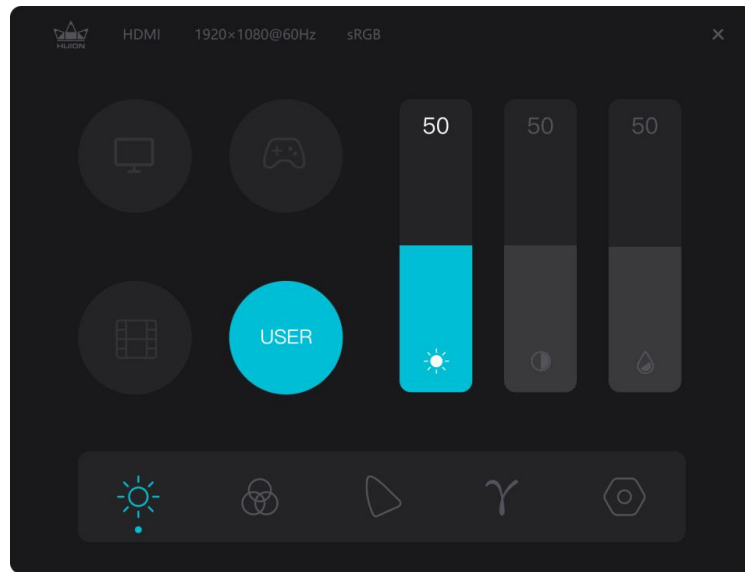


注意：

ネイティブ色空間では、「シーンモード」調整インターフェースと「色温度」調整インターフェースの値を自由に調整または選択できます。

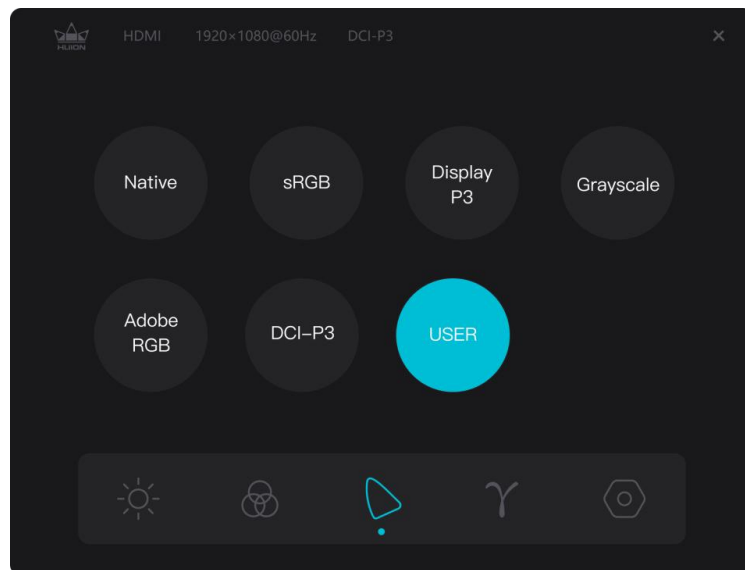


sRGB、Display P3、白黒、Adobe RGB、または、DCI-P3 を使用している場合、色域を正しく保つために、「ユーザー」でのみ明るさを調整することができます。



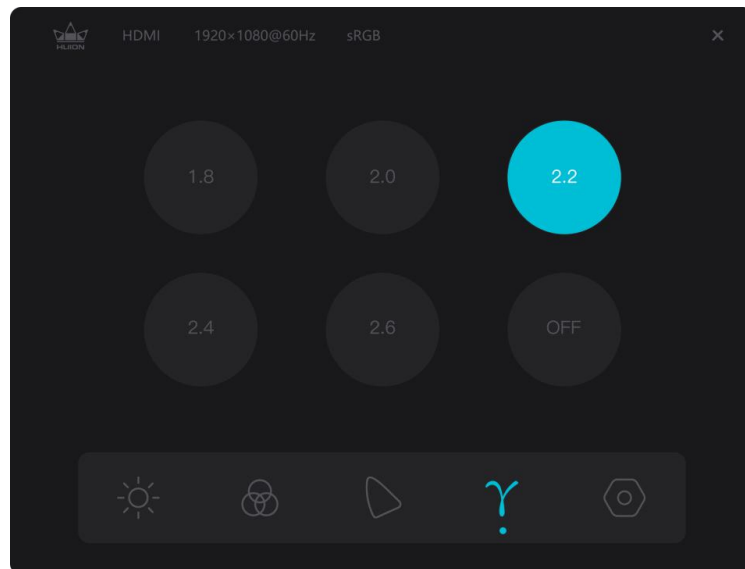
ユーザーカラースペース: G1 GTCOLOR キャリブレーターと GTCOLOR キャリブレーションソフトを併用することで、自身のカラープロファイルを簡単に作成、保存することができます。

詳細は、[G1 GTCOLOR キャリブレーターユーザーマニュアルとソフトウェアのダウンロード説明書](#)を確認してください。



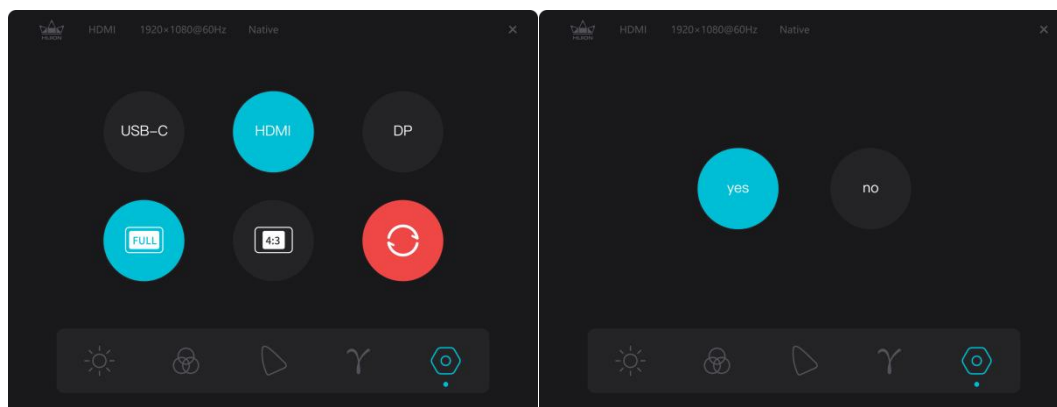
7.4. ガンマ補正

ガンマ値は、特定のカラースペース内で、固定されています。（例えば、sRGB/Adobe RGB/Display では 2.2、DCI-P3 では、2.6）シナリオに応じた最適化のために、ネイティブモードや白黒モードでは、カスタムガンマ値の調整が可能です。



7.5. 一般設定

- ①USB-C/HDMI/DP: USB-C ケーブルあるいは HDMI ケーブルで接続
- ②FULL: 表示領域をフルスクリーンに切り替え
- ③4:3: 表示領域のアスペクト比を 4:3 に切り替え
- ④Reset: OSD メニューの設定をすべてデフォルトにリセット



8. トラブルシューティング

問題	解決方法
カーソルが動くのに筆圧を検知しない	ドライバインストール時に、他のドライバをインストールまたはグラフィックソフトウェアを起動した可能性があります。すべてのドライバーをアンインストールし、起動中のソフトウェアをすべて閉じてから、ドライバーを再インストールします。インストールが完了したら、コンピュータを再起動してください。
デジタルペンが使えない。	1.本機に付属していた純正ペンを使用してください。 2.ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。
本体のショートカットキーが使えない	1.ショートカット機能が有効になっているか確認してください。 2.ショートカットキーが正しく設定されているか確認してください。
パソコンがスリープモードにならない	ペンディスプレイのアクティブエリアにデジタルペンを置いていませんか？ デジタルペンを本機から離して保管してください。
デジタルペンのショートカットキーが使えない	ペン先をディスプレイの表面から 10mm 以内に保持してください。離れすぎると検知なくなります。
パソコンがペンディスプレイを認識しない	USB ポートに異常がないことを確認します。問題がある場合は別の USB ポートを使用してください。

問題が解決しない場合は [\[FAQ\]](#) をクリックしてトラブルシューティングをご覧ください。または当社カスタマーセンター (service@huion.com) まで電子メールにてお問い合わせください。